



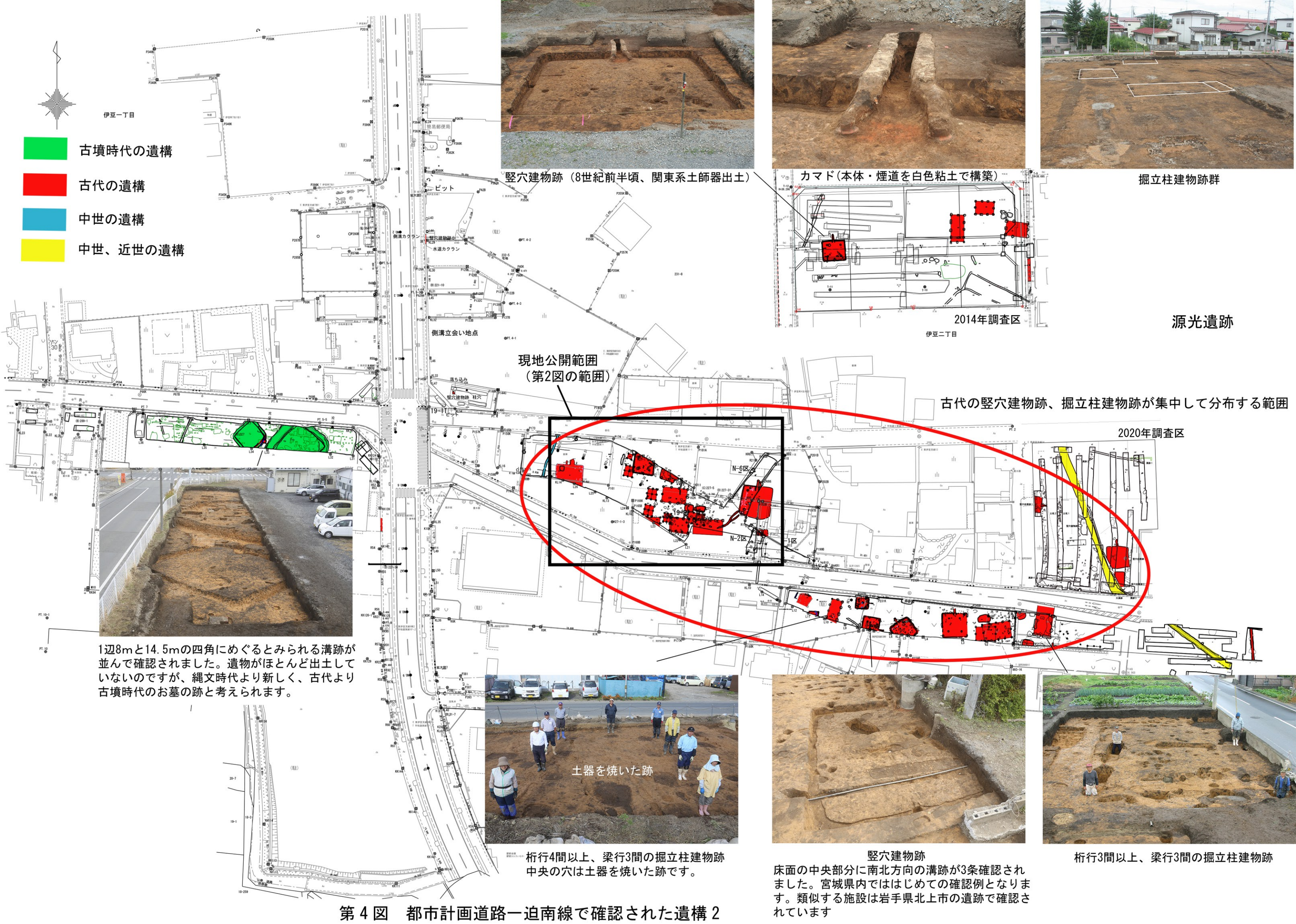


-  古墳時代の遺構
-  古代の遺構
-  中世の遺構
-  中世、近世の遺構



1辺8mと14.5mの四角にめぐるとみられる溝跡が並んで確認されました。遺物がほとんど出土していないのですが、縄文時代より新しく、古代より古墳時代のお墓の跡と考えられます。

竪穴建物跡 (8世紀前半頃、関東系土師器出土)

カマド(本体・煙道を白色粘土で構築)

掘立柱建物跡群

現地公開範囲 (第2図の範囲)

古代の竪穴建物跡、掘立柱建物跡が集中して分布する範囲

2020年調査区



土器を焼いた跡

桁行4間以上、梁行3間の掘立柱建物跡 中央の穴は土器を焼いた跡です。



竪穴建物跡

床面の中央部分に南北方向の溝跡が3条確認されました。宮城県内でははじめての確認例となります。類似する施設は岩手県北上市の遺跡で確認されています



桁行3間以上、梁行3間の掘立柱建物跡